

## 令和7年度全国鉱山保安週間によせて

九州産業保安監督部長 齊藤 薫

各鉱山におかれましては、平素より鉱山保安行政に対し、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度も全国鉱山保安週間を迎えることとなりました。

鉱山保安週間は、鉱山における自主保安活動を推進し、保安意識の高揚を図るとともに、広く国民の皆様には、鉱山保安に関する認識と理解を深め、もって鉱山における危害及び鉱害の防止に資することを目的として、昭和25年度から毎年度実施しているものです。

経済産業省といたしましては、「国民安全の日（7月1日）」に合わせ、7月1日～7日を鉱山保安週間としておりますので、この期間中、各鉱山、各事業所及び関係団体におかれましては、日常作業の一斉点検などの保安対策の徹底や保安意識の向上・促進など、様々な取組みを実施していただくことをお願いいたします。

九州産業保安監督部では、鉱山保安週間に先立ち、各鉱山から保安標語の募集を行った結果、19鉱山から184作品の応募をいただきました。その中から特選1作品と入選4作品の計5点を選考し、それらを入賞とするとともに、当該保安標語はポスターとして印刷の上、各鉱山に配布いたしました。

また、当該保安標語は当部ホームページに掲載するとともに、鉱山保安週間中に当部職員が鉱山にお伺いし、保安標語入賞者の表彰や保安講話を行い、保安行事に取り組みすることとしております。

さて、全国の鉱山における危害災害の発生状況ですが、昨年は、3年ぶりに全国での死亡災害が0件でございました。これも一重に鉱山で働く皆様、常日頃から保安確保に対する意識を高く持たれていることによる賜物だと思っております。一方で、九州管内に目を向けると、非鉱山労働者

を除く罹災者数としては、運搬装置による災害により重傷者が1名発生しております。

当監督部といたしましては、これまで、災害等情報の水平展開、関係団体等との連携強化などを行ってきたところですが、今後も関係団体と連携するとともに、一層協力を得ながら、管内鉱山の保安レベルの向上を目指し、支援を行って参ります。

鉱山保安週間が皆様方全員の保安意識の向上とゼロ災職場づくりの一助となることを祈念し、私のメッセージといたします。ご安全に。